森®を建てよう。

建築家が創るHOPデザイン。

高さを活かした大空間が創り出す、安らぎの開放感　札幌市K邸

天井まで届くほど大きくとられたガラス窓。室内にいながら感覚的には屋外にいるかのような開放感を創り出すのは、この景色と6mの天井高だ。人は快適な室内環境を求めながら、空の下で過ごす開放感に癒やされたいと願う、二律背反の願いを持つ。守られている安心感があるからこそ、心も体も自然のままに振る舞える。それが家という空間であり、家族という関係である。

HOP
Housing Operation Project Group

撮影／木田 勝久